

上下水道広報誌

(発行) 平成30年6月28日
 豊富町役場 建設課上下水道係
第 3 号
 今号のテーマ: 水道の歴史

「上下水道広報誌」は、みなさまに情報のお知らせと、上下水道事業へのご理解・ご協力をいただくため発行しています。

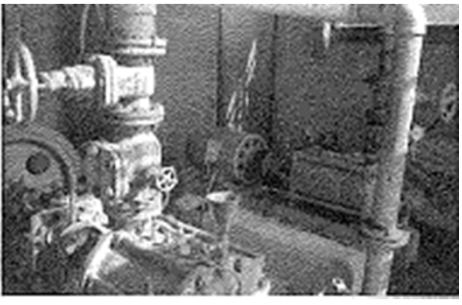
人から人への繋がりが水道管を繋げてきた、歴史ある水道水

豊富町は、北海道でも優秀な自然環境に恵まれており、そのサロベツの大地の恵みを受けた清純な大地の地下水を使用しているのが、豊富町の「水道水」であり、皆様へお届けしています。

豊富町の水道水は、各地区の水源において町で創設したものの他に、道営事業や水道利用組合にて創設されたものもあり、現在は全て役場に移管され、安心して美味しい水道水の供給のため、維持管理に努めています。今号では、そんな水道の歴史を題材としてご紹介します。

(豊富町水道歴史年表)

年	事項	解説等
(兜沼地区)		
豊富における簡易水道施設のはじまりは、兜沼市街であり、北方600m離れた低地から取水運搬し、飲料水にしていたが、施設が不完全であることと、運搬が困難であり、伝染病の恐れがあったため、簡易水道施設の計画が具体化した。		
昭和32年	兜沼地区簡易水道 創設	豊富町発祥の地「兜沼地区」にて簡易水道の誕生。昭和32年議会の議決を得て、用地買収の後に集水槽・ポンプ室・消火栓6基等を設置するため工事。総工事費は約520万円であり、給水人口1,300人に対し、「昭和33年4月」より給水を開始した。
	【写真】旧 兜沼ポンプ場 ※解体直前の写真	
平成16年	兜沼地区簡易水道 廃止	水源が牧草地帯の中であり、感染症が懸念されたため。

(豊富地区)		
市街地付近の土地は15メートル程度の掘削により、水が地上に噴水するため飲料水としていたが、年を経るにしたがって出水が減少し、水量不足とかなげにより、白い布地を洗うことができなくなったため問題となり、簡易水道施設の計画が具体化した。		
昭和33年	豊富地区簡易水道 創設	現在の市街「豊富地区」にて簡易水道の誕生。昭和33年用地買収の後に集水槽・ポンプ室・消火栓22基等を設置するため工事。総工事費は約1,184万円であり、給水人口4,000人に対し、「昭和34年1月」より給水を開始した。
	【写真】旧 本町水源池ポンプ室	【写真】旧 本町揚水ポンプ室
		
平成17年	大規模草地を給水区域へ追加	沢水を使用しており、牛の内臓疾病が発生したため、水道水へ切替。
平成24年	豊富・東部・北部地区の給水区域統合	豊富町全地区を「豊富地区簡易水道」とし、区域の統合。

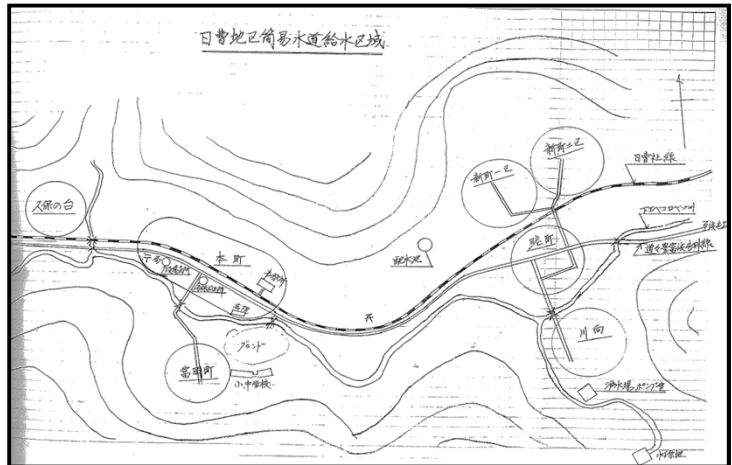
美味しい水道水は、美味しい牛乳の源泉

年	事項	解説等
(温泉地区)		
温泉地区に住民が増加し、住民はもちろん観光客の衛生保全を図るため簡易水道施設を計画した。		
昭和36年	温泉地区簡易水道 創設	温泉の町豊富町「温泉地区」にて簡易水道の誕生。
昭和36年水源は伏流水(川水)として、個人所有地と町所有地を交換し、集水孔・ポンプ室・消火栓6基等を設置するため工事。総工事費は約1,057万円であり、給水人口700人を対象とするものとし、「昭和36年12月」より給水を開始した。		
その後、水源であるエベコロベツ川の上流において、鉱業所の洗炭をしたことにより閉塞したため、昭和43年に水源調査(井戸掘削)を行い、水源を地下水へ切替。		
昭和50年頃	温泉・東豊富地区簡易水道 廃止	豊富地区へ統合。

(日曹地区)		
飲料水は従来、自家用として鉱業所が二箇所を設置していたが、衛生面が悪く、後に簡易水道施設を計画した。		
昭和42年	日曹炭山簡易水道 創設	炭鉱の町豊富町「日曹地区」にて簡易水道の誕生。
昭和43年水源は伏流水(川水)として、国有地無償貸付の承認を受け、取水堰堤・調整池・ポンプ室等を設置するため工事。総工事費は約3,525万円であり、給水人口600人を対象とするものとし、「昭和43年10月」より給水を開始した。		
昭和42年	日曹炭山簡易水道 創設	炭鉱の町豊富町「日曹地区」にて簡易水道の誕生。

【写真】

旧 日曹水源池(左)
旧 日曹地区給水区域図(右)



なお、市街から温泉へ繋がる現在のサイクリングロードは「日曹専用鉄道」の線路跡地を利用したものである。

昭和50年	日曹炭山簡易水道 休止	炭鉱閉山に伴い、地域住民が転出し居住無のため。
平成14年	日曹炭山簡易水道 廃止	

(その他の地区)		
昭和43年	庄内地区営農用水利用組合 創設	国営事業にて整備。
昭和57年に給水量の増加と施設の老朽化に伴い、道営事業「豊徳豊田地区営農飲雑用水」として施設整備。		
平成17年	庄内地区専用水道 設置	水道水の飲用使用、給水人口100人を超えるため届出。
平成20年	庄内地区専用水道 廃止	水質悪化の要因から、北部地区簡易水道へ統合し、町へ移管。
昭和52年	西豊富水道利用組合 創設	
平成13年	西豊富水道利用組合 廃止	施設老朽化の要因から、豊富地区簡易水道へ統合し、町へ移管。
平成13年	新生水道利用組合 廃止	厚生省ダイオキシン調査による水道への不安のため。
ダイオキシンの検出はなかったが、新生地区の水源がごみ焼却場周辺であったため、市街の水源へ切替により、町への移管。		
昭和52年	豊徳・稚咲内地区営農用水利用組合 創設	道営事業にて整備。
平成4年	北部地区簡易水道 創設	
平成7年	東部地区簡易水道 創設	
平成17年	豊徳地区専用水道 設置	水道水の飲用使用、給水人口100人を超えるため届出。
平成21年	豊徳地区専用水道 廃止	施設老朽化の要因から、北部地区簡易水道へ統合し、町へ移管。

庄内水道利用組合
創立30周年記念 賀会



「蛇口をひねると、安全で美味しい水道水がでる。」
水道水は、皆様から頂いた水道使用料から創られています。